

如何でしたか？授業参観！



1月15日(水)、今年度最後の授業参観を行いました。学校での姿は、普段見慣れた家庭での姿とは、一味違ったものだったことでしょう。

先ず、子ども達は？

Q. 落ち着いた態度で授業に臨んでいましたか？

Q. 授業に参加する姿は、積極的でしたか？

Q. 先生や友達の話をよく聞いていましたか？

次に、参観の皆様は？

Q. お子様の成長を見つけることができましたか？

Q. クラスの集団としての成長に気づきましたか？

Q. 静かに参観していただけましたか？

「笑顔と夢に溢れた学校」の風土を創るには、先ずは、美しく、向上心に溢れた逞しい心を育てることから。次回の授業参観は、年度明けの4月。どうぞお楽しみに！

学校評価を頂いて！

昨年12月に、アンケートを頂いていました。詳しい報告は、先日保護者の皆様の手元に届いているかと思いますが、改めて結果を見つめてみました。

学校では、単年度の結果で一喜一憂するのではなく、前年度との比較をしながら分析を進めていきました。概要としては、学校の教育活動を評価していただく結果となっており、校長として、「学校と保護者が良き Partner になり子どもの成長を後押しする」そんな姿に近づきつつあるのではと感じ大変嬉しく、また、有り難く思っています。

具体的には【学校の姿】として「4」という最高の評価を頂いたものとして、①学校公開に努めている(57.8%⇒90.5%) ②学力や学習習慣の向上に努めている(40.6%⇒71.4%)等。【教師の姿】として①分かる授業に取り組んでいる(42.5%⇒59.1%) ②保護者からの相談や連絡に丁寧に応じている(52.3%⇒90.9%)等です。【子どもの姿】の、①楽しく学校に通っている(52.8%⇒72.7%)は、何より嬉しい結果です(「3」の評価も入れると100%)。(回答率は、全保護者の85%でした!)私は常々先生方に次のようなお願いをしています。

○「楽校共育」＝「学校は楽しさを共有する学び舎であり共に育ち合うところ」

○形は様々でよい(自分の持ち味を発揮して)ので「全力で子どもたちを可愛がって欲しい」

これらの結果は、その想いを先生方が形にしている証ではないかと…。

ただ、当然課題もあります。未来を力強く生き抜いていくために大変重要であろう内容、【学校の姿】の、命の大切さや思いやりの気持ちを育てるといった項目では、微増(31.9%⇒42.9%)に留まっていること。【子どもの姿】にある元気よく挨拶するに至ってはマイナス評価(35%⇒27.3%)となっています。後者に関しては①元気な挨拶②大きな歌声③素直な心④つなぐ心を、本校の「4つの宝」として掲げる私達にとって、ショッキングな数値でした。ただ、「最近、挨拶が…」というように、職員の中でもなんとかせねばと言う空気があったことを思えば当然の結果かと…。

前後しますが、もう一つの課題、「命の大切さ」に関することです。学校でも、道徳や人権集会等の諸活動で心を耕す努力を行っています。



しかし、正直、限界を感じているのも事実です。様々なゲーム、大人が知らないところでやり取りされているSNS等が阻害要因となっているのでは。今日のご時世、それを禁止するのは難しい。しかし、時間の使い方を考え、実践に移す努力はさせたい。「何かを手に入れたいのなら、何かを犠牲にする覚悟が必要」親も根気と信念が必要かと。

これからも、保護者の皆様の期待に応え、より良い学校づくりに邁進していきたいと決意を新たにしています。お気づき、お尋ね、お願い等あれば、遠慮なくご連絡、ご相談を!

～ホッと一息～

*あ～よかった～!これが、1月6日(月)、仕事始めの日の心の叫び!校長室でお世話している(されている?)シャコバサボテンの花が元気に咲いていたからです。年末年始休暇の9日間、枯れてないかな?水は大丈夫かな?と心配をしていました。全く子育てと一緒にやり過ぎていけないし、気にかけていないと。早速、花と相談



しながら少々の水をあげました！